

あり組での生活があっという間に過ぎ、残り1か月となりました。入園当初は、初めてお家の方と長時間離れることに不安や緊張で泣いて過ごしていた子どもたちでしたが、今では自分の思いや要求を身振りや喃語、言葉を通して安心して気持ちを表現しています。また、春先は避難車やおんぶ紐で大学の森に出かけていましたが、今では保育者と一緒に手を繋いで歩いて散歩を楽しんだり、森に着くと大きな岩によじ登ったり、走って探索をしたり、自然に触れてのびのびと体を動かして遊ぶ姿が見られ好奇心旺盛な子どもたちです。

生活面では、スポンやオムツの着脱を保育者と一緒にしようしたり、戸外遊びの準備で自分の帽子を被ろうとし、上着や靴を持って来たりするなど自分でやってみようと意欲的に過ごしています。友だちとの関わりで手を繋いで歩く姿や泣いている友だちの頭を優しくなでる姿、「かして」と身振りで伝えながら玩具のやりとりを行う姿なども見られ、この一年の心と体の大きな成長を感じ、嬉しく思います。

3月は暖かい日差しの下で、春の自然に親しみながら一緒に綺麗な花や虫などを見つけ、ひよこ組への進級を嬉しい気持ちで迎えたいと思います。

この一年間、保護者の皆様と共に子どもたちの成長を見守り、喜び合えたことを心より感謝いたします。



『いぬのおまわりさん』の歌絵本が大好きな子どもたち。

犬や猫の絵を見て「わんわん」「ニャーニャー」と嬉しそうに教えてくれます。歌をうたうと、手を叩いたり体を揺らしたりしてノリノリです。“わからない”のフレーズでは首を左右に振ってみんなで同じ動きをしています。一生懸命なその姿がとてもかわいらしく癒されます。

ひよこ組での生活も残り1か月となりました。入園・進級当初は、泣いて不安を表現していた子どもたちも身の回りのことを自分でしようとし、友だちとの関わりも増えて一緒に遊ぶ姿が多く見られるようになりました。また自分の思いを主張するだけでなく、泣いている友だちに「だいじょうぶ？」と声をかけて頭をなでたり、苦手な物を食べた友だちを「すごーい！」と認めたり、一人ひとりの優しい気持ちや友だちを大切にしている心の成長も多く見られ嬉しく思います。

先月から、午睡後に脱いだ衣服を保育者と一緒に畳んで片付けています。袖を折る時に、「ぱったん、ぱったん、はんぶんこ」と言いながら畳んで、できた時には満足そうに笑みを浮かべる子どもたちです。これからも自分でやってみようとする気持ちを大切にしながら、一つひとつ丁寧に方法を伝えていきたいと思います。また、ウクレレの歌に合わせて、鈴やエッグマラカスで楽器遊びをしています。体を揺らしたり、歌ったりしながら思い思いに表現し、歌のテンポが変わるとゆっくりしたり速めたりしながら、楽器を鳴らすことを楽しんでいます。

今月は、りす組保育室で遊ぶ機会も設けたいと思います。友だちや保育者と好きな遊びを楽しんだり、玩具の場所を知ったりしながら少しずつ新しい環境に親しみ、進級を嬉しい気持ちで迎えられようように過ごしていきたいと思います。この一年間、保護者の方とともに子どもたちの成長を見守り、喜び合うことができたことを心より感謝いたします。ありがとうございました。



ぞう組の劇『かにむかし』を参観した時のこと。サルを退治するために、子がやハチ、臼たちがサルの家の至る所に隠れて待ち構えている場面を観て、「Aちゃんもかくれんぼしたいなあ。」「Bちゃんもかくれたーい！」と登場人物が楽しくかくれんぼしていると思って話すがとても微笑ましかったです。うさぎ組やひつじ組の劇遊びも参観し、何人もの子どもたちが「たのしかった」「うさぎさんいたね」「かにさんころんでたね」「みんなくっついてた！」等話し、お兄さんお姉さんが言葉や歌、動きで表現する姿を通して、心をたくさん動かしていたことが伝わってきました。

りす組での生活も残すところあと1か月となりました。進級当初の生活面の着替えでは、保育者と一緒にする中で「できない」「手伝って」と伝える姿が多く見られていましたが、今では一人でできるようになったり、難しくても自分で挑戦し、やってみようとしたりと、意欲的に取り組む姿に成長を感じています。また、『だるまさんがころんだ』や『フルーツバスケット』など簡単なルールのある集団遊びを楽しんでいます。フルーツバスケットでは、自分の持っている果物のカードが呼ばれると「やったー！」と嬉しそうに場所を移動したり、次に座る場所を探す友だちがいて、「こっちだよ！」と教えてあげるなど、やりとりを楽しみ、友だちを思いやる姿も見られました。

2月のひな祭り制作では、好きな柄の千代紙で折り紙を楽しみ、着物を作りました。また、パスでおひなさまとおだいりさまの顔を描き、それぞれに表現を楽しみました。「ほっぺ描いたよ」と嬉しそうに友だちに見せたり、「わあかわいい！」と認め合ったり、お互いに温かい言葉をかけ合う姿に、関わりが広がっている様子が伝わってきます。

3月はうさぎ組保育室で遊ぶ機会も設けます。好きな遊びと一緒に楽しんだり、玩具の場所を知ったりしながら、少しずつ新しい環境に慣れ、うさぎ組への進級を嬉しい気持ちで迎えたいと思います。そして、徐々に近づく春の暖かさを感じながら、りす組での残りの時間を大切に過ごしていきたいと思います。

これからも子どもたちが神さまに守られる中で、のびのびと成長していくことができますようお祈りしています。一年間、ありがとうございました。

暖かい日が多かったこの2月。大学構内を散歩していると、早くも桜の蕾がぷっくり膨らんでいました。「もうすぐお花でてる？」「お花の赤ちゃんいっぱいだ〜」と、今にも咲きそうな桜が待ち遠しい様子の子もたち。友だちと手を繋いで歩くことにも慣れ、周りの自然の変化を分かち合う姿に心まで温かくなりました。これからも子どもたちの気付きや感性を大切にしながら楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

